

# 分科会評価報告書（令和5年度決算）

（都市経済分科会 No1）

(所管課, 事業コード) 事業名	(商工観光課, 5576) 海水浴場管理運営事業	※P.582
---------------------	-----------------------------	--------

評価	B	A 十分評価できる <input checked="" type="radio"/> B やや評価できる C あまり評価できない    D 全く評価できない
----	---	---

**【評価に至った理由】**

本事業は、下津及び平井海岸において、夏の海水浴シーズンに合わせ、海水浴客が安全・安心に楽しむことができる海水浴場の開設に注力し、海水浴客の増加も図る事業。

令和5年度の開設期間中は、海水浴を安全に楽しんでいただくために監視やパトロールを実施。また、観光庁のブルーツーリズム補助金を活用し、下津海岸にシャワーを設置するなど例年以上の利便性向上を図っている。

海水浴客が徐々に減少していることについては、昨今の気候変動やレジャーの多様化、少子高齢化等の要因も大きい。ドローンを購入し海水浴客の安全管理強化に利用する工夫もされ、海水浴場開設期間の安全管理はしっかりと図られているものの、総合戦略に掲げる既存産業のチャレンジを応援するという観点では、まだ予算を生かし切れていない点もあることなどから、分科会評価としては「やや評価できる」とする。

今後の方向性	1	<input checked="" type="radio"/> 1 拡充      2 継続      3 改善 4 縮小      5 休止      6 廃止
--------	---	---

**【今後の取り組み方と提言】**

安全面について今後も継続して確りと取り組んでいただきたい。

猛暑など様々な要因により海水浴客減少が継続している状況であるが、より多くの人々に親しまれる海水浴場にするため、民間活力の活用促進や海水浴場を一か所に絞ることで予算の集中を図り新たな取り組みが行えないかなど、更なる可能性について模索することを期待する。

また、本事業は海水浴場開設シーズンに係る予算が主であるが、今後は年間を通じた海の安全管理・利活用を図れるような事業名および事業内容の検討も必要と感じる。

今後も継続した海水浴場の安全管理と集客による経済効果等を期待して分科会評価は「拡充」とする。